

- ☑ 令和元年版環境白書（環境省）
- ☑ 「New ドギーバッグアイデアコンテスト」
- ☑ 事業活動報告、SEF からのお知らせ



トピックス

令和元年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書が公表されました（環境省）

去る6月12日、「令和2年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」が閣議決定され、国会に提出されました。本年の白書では、「気候変動時代における私たちの役割」をテーマとして、政府、自治体、企業、個人による脱炭素型、自立分散型の社会づくりに向けた具体的な取組及び新型コロナウイルス感染症に対する環境行政の対応について記載されています。

特に、第1部第1章では「気候変動問題をはじめとした地球環境の危機」と題して、国内外で頻発している自然災害を例示しながら、政府の閣議決定文書では初となる「気候危機」という表現が用いられ、社会変革の必要性を強く訴

える内容となっています。

また、コロナ後の経済復興について、持続可能でレジリエントな経済社会へと再設計していくことが不可欠であるとし、白書では食やエネルギーの「地産地消」など、自立分散型の社会づくりに向けた取組が具体事例とともに紹介されています。

令和2年版 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書（概要）	
【テーマ】 気候変動時代における私たちの役割	
令和元年度 環境の状況及び地球の保全に關して議した議案 等	
第1部 環境白書 （令和2年6月12日閣議決定）	第1章 気候変動問題をはじめとした地球環境の危機
	第2章 政府、自治体、企業等による社会変革に向けた取組
	第3章 一人一人から始まる社会変革に向けた取組
	第4章 新型コロナウイルス感染症からの回復と気候変動の危機
	第5章 新型コロナウイルス感染症に対する環境行政の対応
議 決 文 書、各分野における令和元年度に議した議案	
第2部 循環型社会白書 （令和2年6月12日閣議決定）	循環型社会の取組 各分野における令和元年度に議した議案
	生物多様性白書 各分野における令和元年度に議した議案
令和2年度 環境の状況を考慮して議しようとする議案 等	

環境省ホームページ 公表された白書の全容 <http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/>

トピックス

「New ドギーバッグアイデアコンテスト」応募受付期間が延長されています！

ニュースレター Vol.68（3月1日発行）でご紹介した、「New ドギーバッグアイデアコンテスト」ですが、新型コロナウイルスによる影響を踏まえ十分な周知期間等を確保するため、応募受付期間が延長されています。

「ドギーバッグ」とは、レストランやパーティーで食べきれずに残ってしまった料理を持ち帰るための容器のことです。米国などでは日常的に行われていますが、日本ではまだまだ普及には至っていません。そこで、「持ち帰り」を身近な文化として広め、飲食店等における「持ち帰り」の実践を促す社会的な機運醸成を図ることを目的として開催するものです。コンテストでは、「ネーミングの部」「パッケージデザインの部」の2部門について作品を募集しています。

当初の応募受付期間は6月1日まででしたが、8月16日（日）まで延長されています。

外食事業者の皆様、自社の取組みを発信する機会として、是非ご活用ください。

みんなで食品ロスをゼロへ

食べ残さずに持ち帰る新しいネーミングとパッケージを募集します。

New Doggy Bag

Newドギーバッグ アイデアコンテスト スタート!!

ネーミングの部への応募 | パッケージデザインの部への応募

2020.08.16 まで

食べ残さずに | ドギーバッグ等に入れて | 持ち帰るアクション/CO₂

※応募は日本国内の個人に限ります。応募資格は18歳以上の日本国籍を有する方です。ただし、日本国籍を有する外国人も応募することができます。外国人は日本国籍を有する方と見做されます。このコンテストは、食品ロス削減を推進する目的で開催されています。応募いただいた作品は、環境省のホームページに掲載されます。応募いただいた作品は、環境省のホームページに掲載されます。

詳しくは環境省
特設ホームページ
<http://www.env.go.jp/recycle/foodloss/contest.html>

SEFからの

お知らせ

2020年度ゼロエミッション研究会 9月から開催！

小売・外食の
環境・CSR
担当者必見！

2019年4月より、「実践で学ぶ！持続可能な食品リサイクルループのつくり方～仕組みづくりから認定取得まで～」と題して開催した2019年度ゼロエミッション研究会。その成果として、史上初となる排出事業者5社による共同食品リサイクルループの構築と、再生利用事業計画の認定申請を実現しました。

そしてこのたび、2020年度ゼロエミッション研究会の開催が決定しました。

本年度の研究会では、群馬県東部を拠点とした食品リサイクルループの構築をメインの取組とします。また、新たに「食品ロスの削減」をテーマに加え、さらには近年課題となっている「廃プラスチック類」にも焦点をあてるなど、より実践的・実用的な取組を展開します。

初回勉強会は9月17日(木)15時から、東京駅周辺の会議室での開催を予定しています。以降、12月を除き毎月1回、翌年3月までの全6回の会合を実施します。

貴社のSDGs達成への貢献に向けた取組の一手として、ぜひご参加下さい。お申込み・お問い合わせはSEF事務局までお気軽にどうぞ。

食品ロス対策・食品リサイクルの推進・廃棄物の課題解決に…

公益財団法人Save Earth Foundation 主催
ゼロエミッション研究会

実践で学ぶ！食品ロスの削減と
持続可能な食品リサイクルループの構築

- 参加事業者が共同して、関東エリアにおける食品リサイクルループを構築し、食品リサイクル法「再生利用事業計画(食品リサイクルループ)」認定取得を目指します！
- 廃棄物の現状把握から食品ロス削減策、ループ認定取得まで徹底サポート！
- 形だけの取組みではない、SDGs達成に貢献する持続可能な仕組みづくりを実現！

期間 2020年9月～3月
初回：9月17日(木)15時～18時 以降12月を除き毎月開催

対象 SDGsの取組を推進したい食品小売業・外食業の環境・CSR担当者

費用 1社あたり70,000円
※ SEF賛助会員(任意団体)加入事業者は無料
※ 旅送、見学会交通費、および遠方への個別相談時の相談員交通費が発生します

内容 勉強会、現地見学会
個別相談(随時受付)
仕組みづくり～認定申請
認定取得後の食品リサイクルループ運用管理

【詳しいご説明をご希望の方は、下記ご記入のうえFAXまたはメールでご返信ください】

貴社名	
部署名	ご担当氏名
ご連絡先 TEL	FAX
メール	

※ご担当者様に確認メールをお送りしますので、メールアドレスまたはFAX番号は必ずご記入ください。

FAX返信先 03-5737-2793
メール連絡先 info@save-earth.or.jp

公益財団法人Save Earth Foundation | <https://save-earth.or.jp/> | 東京都大田区羽田1-1-3
TEL: 03-5737-2744 | E-mail: info@save-earth.or.jp

※画像をクリックするとブラウザが開き、大きく表示されます

SEFからの

お知らせ

資源管理適正化支援システム「SEF-Net」を ご活用ください！

SEFでご提供している“資源管理適正化支援システム「SEF-Net」”は、廃棄物の適正処理が円滑に行われ、再資源化促進への意欲を高めて頂くことを目的としたクラウドサービスです。

排出事業者の廃棄物管理業務の効率を高めるために、廃棄物管理に関わる全ての情報をデータ化します。そして、日常業務管理からコンプライアンス・リスク管理、事業者間のコミュニケーションに至るまで、廃棄物・資源物に関するあらゆる業務をクラウド上で管理することが可能なシステムです。

一部の事業者においてこの4月1日から義務化された“電子マニフェスト”も、このSEF-Netを活用して運用管理することが可能です。

「インターフェイスの工夫による作業性向上」「複数個所での同時登録・修正が可能」「予約登録の件数の制限なし」など、電子マニフェストを運用管理するうえでのメリットも満載です。

電子マニフェストの導入支援も合わせて行っていますので、まずはお気軽に事務局(TEL:03-5737-2744)までお問い合わせください。

廃棄物管理をもっとスムーズに！
資源管理適正化支援システム

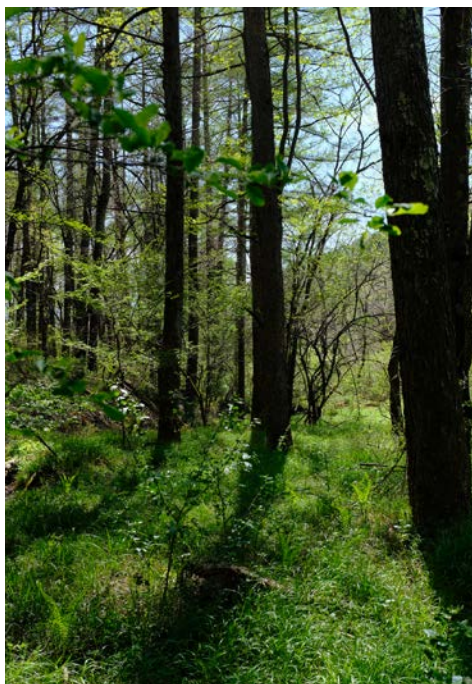


詳しいご案内は SEF-Net ホームページをご覧ください。

<https://save-earth.or.jp/sef-net/>

「東御の森」(長野県東御市有林・11ha)は標高約1000mの中山間地にあり、かつては薪炭利用をした二次林ですが現在は利用する人もなく、年間を通じて人の出入りがほとんどありません。所沢川の水音が心地よく響く森内は、ひっそりと静まりかえっています。この森の住民は、多種の樹木や草花、小動物、野鳥や虫達。彼らはそれぞれに関わりをもちながら森の自然と共に暮らしています。ホンドリスが食べたオニグルミの殻が点々と落ちています。野鳥は、餌を求めて、営巢のために、あるいは渡りの途中に休憩します。ヤ

マクワやサンショウなど、かつて暮らしにとけこんでいたものも残されています。オドリコソウやムラサキケマンの群落に出会ったご高齢の方は「昔はこういう風景があちこち見られた。いつのまにか少なくなったね」と話されます。ごく自然な環境は人にも優しく、気持ちをほっとさせてくれます。あたりまえの自然の営みを次の世代に繋ぎたい。「東御の森」では、調査やイベントなどで観察した生き物たちを記録し、報告書としてまとめています。



7月・8月 森林保全活動 のお知らせ ボランティア 募集中！



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたっては感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

<7月・8月の活動予定>

●千葉県山武市

7月11日(土)、8月8日(土)、22日(土)

●愛知県瀬戸市

7月18日(土)

活動の詳細、お申込みはこちらをクリック

<https://goo.gl/uEt3CZ>

賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。
「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・
団体

会員特典

- ・食品リサイクルループ構築支援
- ・「企業の森づくり活動」支援
- ・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導
- ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待

会員区分 年会費

特別賛助会員	1口	500,000円
賛助会員	1口	50,000円
資源循環サポーター	1口	50,000円(資源循環事業に用途を限定)
森林再生サポーター	1口	50,000円(森林再生事業に用途を限定)

個人

会員特典

- ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待
- ・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行

会員区分 年会費

賛助会員	1口	10,000円
資源循環サポーター	1口	1,200円(資源循環事業に用途を限定)
森林再生サポーター	1口	1,200円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>

